

-
- 【1】講習会「君も物理チャレンジを!! 2023」実施報告
 - 【2】2023年度第1回千葉大学化学教育研究懇談会のご案内
 - 【3】物理チャレンジ, 化学グランプリ, 生物オリンピックについて
-

【1】講習会「君も物理チャレンジを!! 2023」実施報告

千葉大学先進科学センターは、千葉市科学館とNPO法人物理オリンピック日本委員会(JPhO)および千葉大学理学部物理学科と共催し、高校生向け物理講習会「君も物理チャレンジを! 2023」を、4月29日、30日、5月4日、7日の4日間、対面にて開催しました。参加生徒は、中学3年生から高校3年生まで合わせて24名。千葉県、東京都のみならず京都府、栃木県、山梨県等の遠方からの参加もありました。

1日目は、千葉市科学館を会場にし、JPhO近藤泰洋先生(元東北大学教授)、末元徹先生(東京大学名誉教授)、および千葉大学教員が実験指導を行いました。物理チャレンジの過去の実験問題の課題と与えられた実験材料を参考に、参加生徒たちは自分でテーマを決めて実験に取り組みました。実験問題の課題の例は、光の偏光を利用してブリュースター角を測定することにより薄膜の屈折率を求め、分光器で調べた薄膜での光反射スペクトルと合わせて薄膜の厚さを測定するというものでした。光の性質について未学習の参加生徒も多かったようですが、講師の助言を受けながら自分の実験テーマについて熱心に測定をしていました。実験を通して、参加生徒たちは光の性質についての理解を深めたようでした。実験後に、レポートを作成・提出し、4日目午前にレポート返却と合わせ、レポートのまとめ方・書き方のポイントなどについての指導がありました。

2日目は力学の第1チャレンジ理論問題(過去問)の解説を2クラスに分けて行いました。3日目、4日目は千葉大学理学部を会場に電磁気学、熱・波動、原子物理学の内容に関して理論問題演習を通して学習をしました。

参加生徒たちは、皆物理に関する興味・関心が高く、長時間にわたる授業を真剣な態度で受講していました。千葉大学は「物理チャレンジ」の成績優秀者に、先進科学プログラム(飛び入学)の筆記試験免除を行っています。また、令和7年度入学者選抜から、千葉大学理学部物理学科の総合型選抜において「物理チャレンジ」の第1チャレンジに参加した者を対象とする選抜を行います。

千葉大学先進科学センターは、今後もこの講習会を継続的に開催する予定です。

【2】2023年度第1回千葉大学化学教育研究懇談会のご案内

昨年秋に続き、2023年度第1回千葉大学化学教育研究懇談会を下記の要領で開催いたします。皆様方におかれましてはふるってご参加いただけますようよろしくお願いいたします。

日時：2023年6月15日(木) 17:00-18:30

場所：千葉大学西千葉キャンパス 工学部5号棟204教室

プログラム：

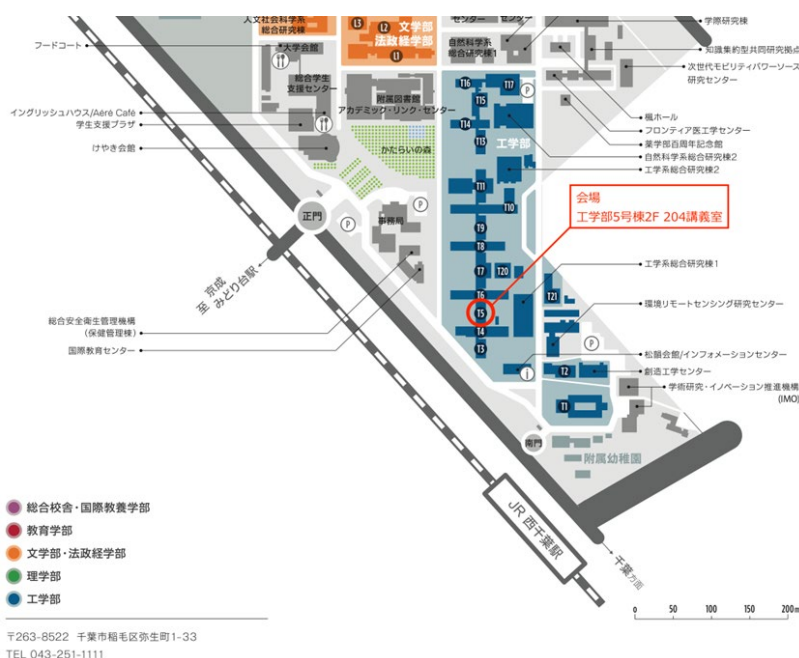
1. 17:00-17:45 唐津 孝（千葉大学教授） 「発光材料の光化学」
2. 17:45-18:30 吉村 彰大（千葉大学助教） 「新しい「王水」の開発 ～貴金属の安定的な利用に向けて～」

参加申込：

2023年6月12日(月)までに
kyosei.chiba@gmail.com
へご連絡ください。

担当者：

一國 伸之（いちくに のぶゆき）
千葉大学大学院工学研究院
融合理工学府共生応用化学コース
263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
tel/fax: 043-290-3380
e-mail: ichikuni@faculty.chiba-u.jp



【3】物理チャレンジ，化学グランプリ，生物オリンピックについて

「第19回全国物理コンテスト 物理チャレンジ 2023」が下記の日程で行われます。（再掲）

申込期間：個人申込：2023年4月1日（土）～5月30日（火）13:00 まで

（学校一括申込：2023年4月1日（土）～5月23日（火）13:00 まで）

ア 実験課題レポートの提出

レポート課題：『振り子の周期を，振れ角を変えて調べてみよう』

提出期間：2023年4月1日(土)から5月31日(水)，オンライン提出のみ

イ 理論問題コンテストの受験

実施日：2023年7月9日(日) 10:00-11:30

オンライン IBT 試験 90 分（自宅や所属校で，パソコンやスマホを使って受験）

参加費 第1チャレンジ参加費：2,000 円/人

詳細は右記 URL をご覧ください。<http://www.jpho.jp>

「化学グランプリ 2023」が下記の日程で行われます。

申込期間：2023年4月3日（月）～6月8日（木）

一次選考：2023年7月17日（月・祝） 13:00-16:00（マークシート式試験）

二次選考：2023年8月29日（火）～30日（水）工学院大学（東京都八王子市）

詳細は右記 URL をご覧ください。<http://gp.csj.jp/next>

「日本生物学オリンピック 2023」が下記の日程で行われます。

申込期間：2023年5月1日（月）～5月31日（水）

（郵送での学校一括申込み締め切りは5月25日（木）消印有効）

予 選 : 2023 年 7 月 16 日 (日) (試験時間 90 分)

本 選 : 2023 年 8 月 17 日 (木) ~ 8 月 20 日 (日) (3 泊 4 日) 静岡大学静岡キャンパス
詳細は右記 URL をご覧ください。 <http://www.jbo-info.jp/>

その他の科学オリンピックは右記 URL をご覧ください <https://contest-kyotsu.com/entry/>

【編集後記】

学校現場での教員不足が話題になっている。教員採用試験の倍率も低下し続けているようである。育児休暇等で欠けた教員の補充もままならないらしい。その解消に向け、教員の月給への上乗せ分を 2.5 倍以上に引き上げるなどの処遇改善策を盛りこんだ提言の案もあるようである。「給特法」という法律により残業代を支払わない代わりに教員の月給への上乗せ分を、現在の 4% から 10% 以上と、2.5 倍以上に引き上げるという案である。校長や副校長など管理職を確保するための管理職手当の改善や、学級担任の「学級担任手当」の創設も必要だとしている。しかしながら、教員の人気回復、教員不足解消には、手当等の増額も良いが、残業当然という発想から脱却して部活動をはじめとする業務に関わる構造改革が必要であろう。(橋)